

☆今月の内容

●トピックス

- ・瓦破砕物が地盤液状化抑制に効果があることを実証しました

●技術紹介

- ・積層造形技術による立体形状作成について
- ・セラミックス・金属材料の結晶方位解析 (SEM-EBSD) について
- ・未知試料の結晶構造解析について
- ・脂肪酸について

●お知らせ

《トピックス》

●瓦破砕物が地盤液状化抑制に効果があることを実証しました！

あいち産業科学技術総合センター常滑窯業技術センター三河窯業試験場は、愛知県陶器瓦工業組合及び名古屋工業大学と共同で、瓦破砕物が地震発生時の液状化抑制に効果があることを実証しました。1月22日（火）に記者発表を行い、各メディアで報道されました。この愛知県陶器瓦工業組合の研究開発は、「産業空洞化対策減税基金」に基づく「新あいち創造研究開発補助金」が活用されています。

先の東日本大震災では、津波による被害だけでなく、地震発生時から遠く離れた地域でも地盤の液状化によって多数の被害が発生しました。愛知県を含む東海地方でも、東海・東南海などの連動型地震による液状化被害が広範囲にわたり発生することが懸念されています。

今回、液状化抑制効果を検証した瓦シャモットは、瓦の製造段階で発生する規格外品を破砕した物です。その角張った形状から地震の際にも粒子の移動が起こりにくく、液状化の抑制に効果があることが名古屋工業大学の地盤液状化評価設備によって実証されました。記者発表後、リサイクル品が命を守るために活用できるということで、多くの反響がありました。当センターでは、今後も、地域産業の活性化に向けた支援を行っていきますので、ぜひご活用ください。



多くのメディアにお越しいただきました



デモ試験の様子